

東大阪支援教育研究会・中河内支援教育研究会 実践報告会

2月10日(火)3時から、東大阪市にある社会教育センターで中河内支援教育研究会の発表を兼ねた実践報告会が行なわれました。今年度は東大阪市内の小学校3校が取り組みを報告されました。

まず初めに、東大阪市立長堂小学校の小西美里先生が「仲よし学級の朝の会」というテーマで、毎日実践されている朝の会の目的や流れ、内容紹介や事例紹介などを写真やビデオを交えて発表されました。毎日朝の会を続けることで母音ができるようになった子の事例と、朝の会が楽しみで学校へ来られるようになった子の事例が報告されました。

次に東大阪市立楠根小学校の高橋真由美先生が「構造化のとりくみ」から・教室のつかい方、・教室内の配置、・一日一時間の流れ、というテーマで話されました。日々の学習環境や一人ひとりの発達段階に応じた教材づくりに取り組まれたことにより、児童は見通しが立ち、主体的に取り組めるようになったということです。また、構造化された個別指導や集団の指導がビデオで紹介されました。

最後に東大阪市立高井田東小学校の石塚秀子先生が「もっとしりたい、Aさんのこと」というテーマで実践報告されました。まずAさんの学習課題や取り組みにあたっての留意点の説明があり、次に手作りの教材や日々の様子をビデオで映しながら報告されました。毎日、身体を使った運動に取り組み、できた事で自信を持つことができ、それが心の支えや安定につながり、色々な活動にも向かえるようになってきているという話がされました。

3人の先生方とも、児童をしっかりととらえ、個別の指導計画が有効に活用されている等、支援の仕方を教えられた有意義な報告会でした。

(文責 東大阪市立枚岡西小学校 深堀)

